



◆ 夏宿当直業務

1月5・6日の二日間、当直業務を行いました。夏期隊員宿舎では、隊員の輪番制で当直が当たります。二日連続・二人制（1日スライドさせ、仕事内容を引継ぎます）です（しらせ支援部隊がいるときは、しらせ乗員も当直に加わります）。6:00 食堂で朝食補助（お茶入れ、テーブル拭き等）。朝食後、食器洗い。その後、午前中に風呂掃除、トイレ・洗面所掃除、玄関掃除。空き缶を圧縮機にかけ分別。食堂、2階共用スペース等の清掃などを行います。昼食前には配膳準備。昼食後は、食器洗い。午後は、ゴミ捨て。第二隊員宿舎の汚水処理。そして、夕食の配膳。食器洗い。19:45MTGの司会。・・・と、かなりの仕事量です。すなわち、食事はしらせ補給科隊員が準備してくれるのですが（夏期活動中、夏期宿舎の食事は57次調理担当隊員はオブザーバー役となり、基本的には調理に携わりません）、それ以外の宿舎運営のための仕事を当直で行なうということです。皆さん、積極的に身を粉にして働きますので、宿舎はいつも清潔な環境が保たれています。



玄関マット干し



空缶の分別



すのこも洗います



昼・夜の食器洗いは全員で



配食。均等に・・・。



ゴミ出し。重量も計ります。



靴洗い桶に水継ぎ足し

右の写真は、宿舎入り口の階段下にあるドラム缶を輪切りにした桶に雪を入れているところです。ということで、No.25 南極トリビアの答えは「① 靴の泥を落とす」でした。昭和基地では、外では長靴（安全靴）着用です。設営作業などで靴が汚れますが、土埃を宿舎に持ち込まないように、必ずこの桶に入って汚れを落としてから宿舎の入るのがルールとなっています。

◆ JARE57 隊員紹介

虫明 一彦 (56) 越冬隊 重点研究観測 岡山県出身
三菱電機株式会社 第54次越冬隊

大阪工業大学工学部電気工学科から三菱電機に入社。半導体設計ソフトウェア開発や大気観測レーダー開発に携わる。2006年に離職し、「いろはプロジェクト」を起業。南極派遣時のみ、旧職場所属となる契約。子どもの頃より、アマチュア無線などをやっていた。昭和基地では、PANSYレーダー専属で、低層域から電離圏まで観測範囲を広げる新規のプロジェクトに取り組む。今後、十数年間に渡り稼働させ続けることができるか、設備保守方法の確立を目指す大きな任務。座右の銘は「犬も歩けば棒に当たる」。皆さんへは「**あきらめず興味をもったことをやり続けると、意外な面白いことが起こります**」とアドバイス。自身も南極行きへつながったと。南極では、オーロラや星空、蜃気楼など自然現象をじっくり観察したい。剣道三段の腕前。もちろん稽古にも励みます。



パース桜剣道クラブ稽古会にて

◆ 食彩 ANTARCTICA

夏期隊員宿舎には、缶詰やインスタントラーメンなどの非常食（ブリザードで外出できない場合を想定）があります。毎年入れ替えるので、現在のものは「食してよし」の通達が出ました。賞味期限切れお構いなし。1月30日には、1.2kgの「さんま生姜煮」の缶詰を我慢しきれず開けてしまいました。



禁断の缶詰、ついに関缶



期限切れラーメンの山